

分子科学研究所 50 周年特別版

自然科学研究機構シンポジウム × 分子科学フォーラム

NINS
National Institutes of Natural Sciences
自然科学研究機構

IMS 50th
Anniversary

元素から紐解く宇宙

2026.3.14 (土) 13:30-16:00

要事前
申込
先着
200名



詳細およびお申込みはこちら
<https://www.ims.ac.jp/sympo41/>

「ハイブリッド開催」
会場
ライブ配信

自然科学研究機構

岡崎コンファレンスセンター
大隅ホール (名鉄東岡崎駅より徒歩約 10 分)

分子研 YouTube・ニコニコサイエンス

後日アーカイブ配信あり ※ライブ配信は事前申込不要です

参加者全員に
プレゼント!

分子研オリジナル
分子ポスター

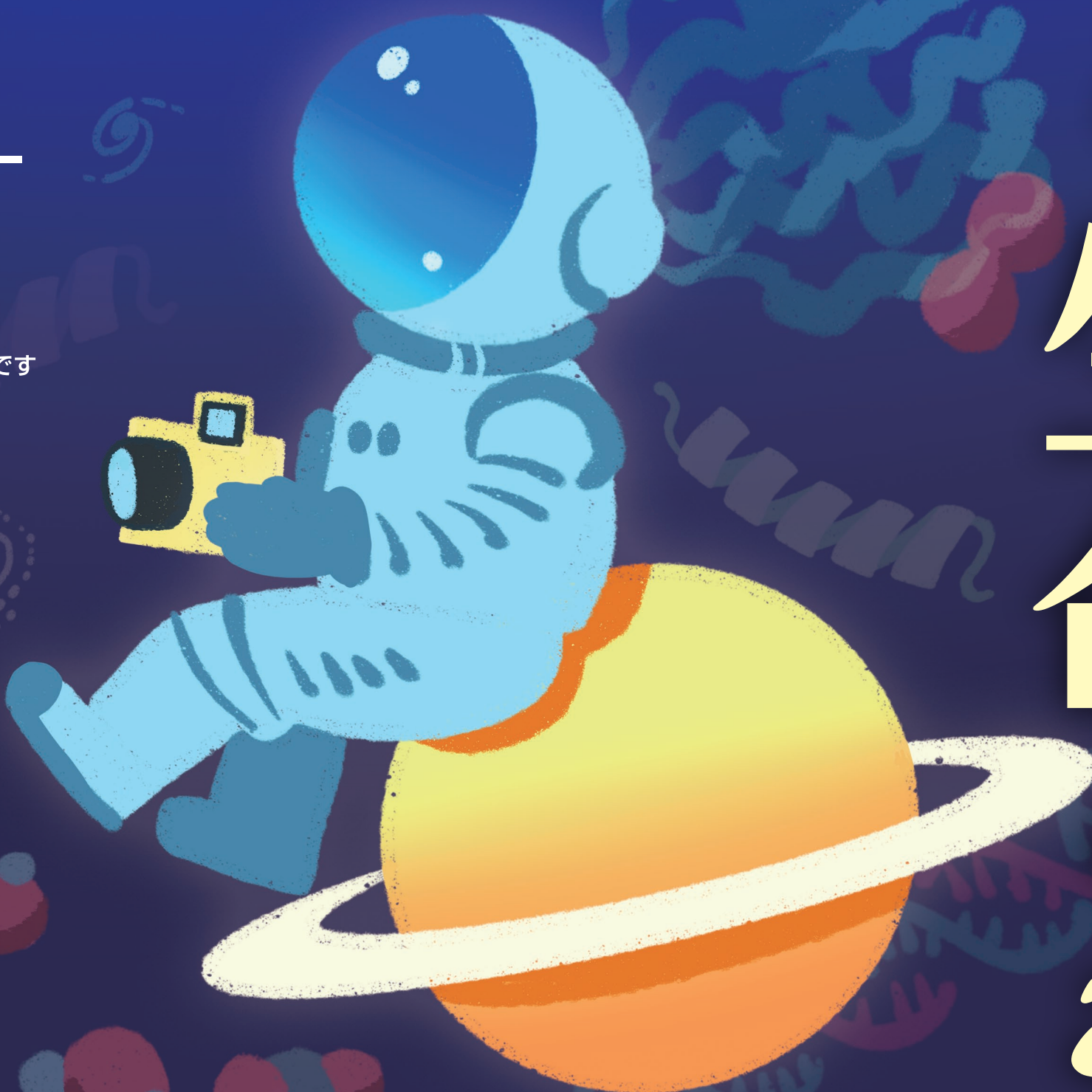
選べる
お楽しみプレゼント

分子研 50 周年オカザえもん
アクリルスタンド

分子研オリジナル付箋



※画像は制作中のものです。



渡部 潤一 自然科学研究機構 国立天文台 上席教授
「僕たちは“星屑”から生まれた?」

僕たちの生命は細かく見ると様々な元素から成り立っています。では、そもそも元素はどうやって宇宙に生まれたのでしょうか? 天文学者は、その謎を解き明かしました。なんと夜空に輝く星たちが作ってくれていたのです。この講演では、この宇宙に多様な元素が生まれる壮大な物語をご紹介します。

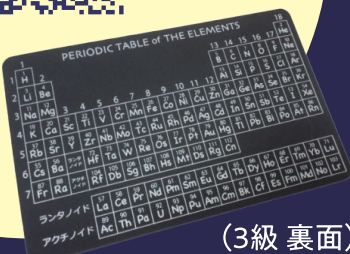
元素検定スペシャル
@岡崎 同日開催(午前中)

対象:小中高校生



元素検定
ウェブサイト

合格すると、
「認定カード」が
もらえるよ!



(3級 裏面)

(機構シンポジウムとは別に事前申込が必要です)

秋山 修志 自然科学研究機構 分子科学研究所 教授
「最古の体内時計が日の出を知らせた約22億年前のある日」

太古の時代、太陽光をエネルギー源として生育する光合成バクテリアが誕生。光合成システムを夜通し維持することはエネルギーの無駄遣いになるため、約22億年前、光合成バクテリアは日の出・日の入りを予測する“体内時計”を手に入れました。この時計の正体は「分子」。生命がこの賢い「分子の時計」をいつ、どのように獲得したのか? わかりやすくお話しします。

